

NST NEWS

H22.12.28
第 26 号

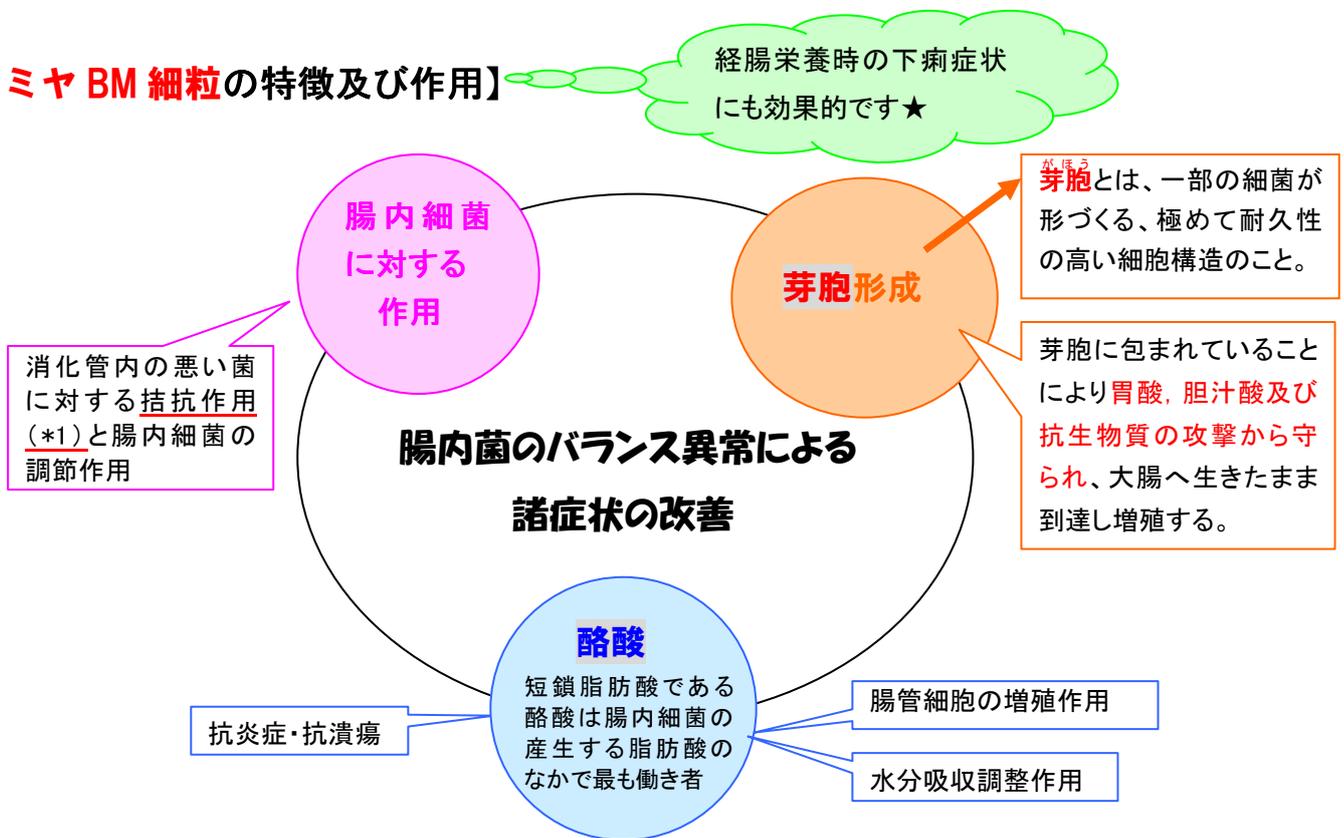


患者さんによく使われている
整腸剤ってどんな働きがあるの??

整腸剤は腸内で増殖して、善玉菌を増やし、菌によって作られる酸により腸内 PH を低下させて(酸性にして)、悪玉菌が増殖し難い環境を作ります。それによって、腸内環境が正常に保たれ、便秘や下痢を防いだり免疫力をアップさせることに役立つのです。

当院採用薬の整腸剤は、ビフィズス菌製剤のビオフェルミンとビオフェルミンRですが、最近ミヤ BM 細粒が稀用薬(患者や期間限定で使用する)で、採用されています。ミヤ BM 細粒はミヤリサン製薬株式会社から販売されている商品で、乳酸菌の仲間の酪酸菌(宮入菌)からできています。今回はこのミヤ BM 細粒の作用についてご紹介します。

【ミヤ BM 細粒の特徴及び作用】



※1 拮抗作用…2 種類の薬物を併用した場合にその作用が減弱する現象

★もう一つの大きな特徴★ 同じ好みを持つ悪玉菌と陣地の取り合いをしてくれます⇒拮抗作用 クロストリジウム・ディフィシル(*Clostridium difficile*)って知っていますか？

入院中の抗菌薬に伴う下痢の 20~30%、偽膜性腸炎の 90%を占める原因菌(悪玉菌)です。

抗菌薬が投与され、腸内の常在菌のバランスが乱れることで発症する場合と、病院内で発症患者から直接的にまたは医療従事者を介して感染し発症する場合があります。

この悪玉菌と宮入菌が同じ仲間なのです。

Q. 同じ仲間って何がいの？

A. 同じ仲間なら、菌が好む栄養も同じ 腸管粘膜に付着して増殖するのも、同じところを取り合うため
クロストリジウム・ディフィシルと拮抗する作用(*1)を持つのです。

これからのNSTの栄養指標 **RTP** (Rapid Turnover Protein)



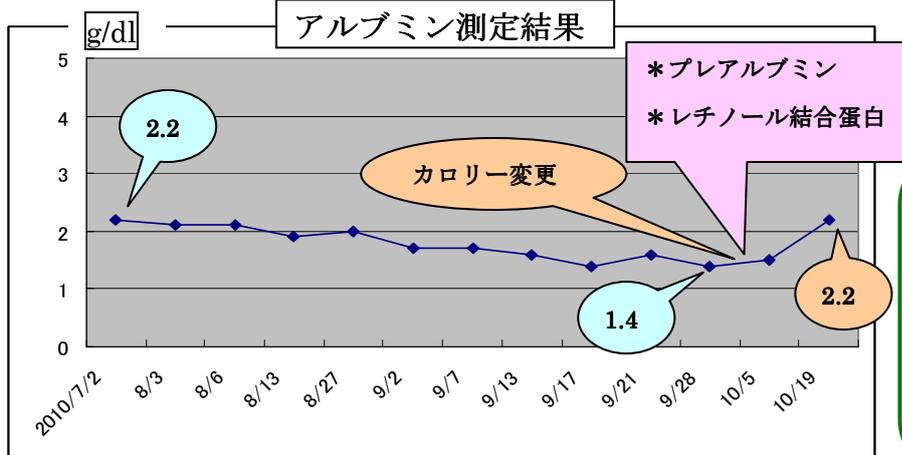
アルブミンに変わり、リアルタイムな栄養評価の出来る **RTP** が注目されています。
RTP の種類はプレアルブミン・レチノール結合蛋白・トランスフェリンがあります。

- 【RTP 測定の特長】 ①短時間で発症した栄養状態の判定ができる
②栄養管理が有効になされているかリアルタイムで知ることができる。

	アルブミン	プレアルブミン	レチノール結合蛋白	トランスフェリン
略号	ALB	PA	RBP	Tf
半減期	21日	2日	0.5日	7日
保険点数	11点	115点	140点	60点
基準値	4.0~5.0g/dl	22.0~40.0mg/dl	男性 2.7~6.0mg/dl 女性 1.9~4.6mg/dl	190~320mg/dl

※ アルブミンとプレアルブミン・レチノール結合蛋白がオーダーされた症例※

A様 80歳代 女 病名(糖尿病・慢性腎不全)



検査結果

カロリー変更後は

- * アルブミンは 上昇
- * プレアルブミン・レチノール結合蛋白は一度しか測定できていないため 有用性不明



10月から検査室に新しい検査機器が入りました！



検査できる項目は**生化学・CRP・血糖・HbA1C**です。
従来よりも**短時間**で検査できるようになりました。今後 NST の活動に参考となるアルブミンや亜鉛などを実施測定項目に入れることができれば、院内で測定可能です。



協立温泉病院・栄養管理委員会

